

保存期間：10年

| | |
|----|---|
| 資料 | 3 |
|----|---|

酒類を巡る最近の動き

酒類業界の環境への取組について

1 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会では、3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）に率先して取り組み、顕著な実績を挙げている方々を表彰し、これらの活動を奨励することを目的に「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を実施している。

本表彰は平成4年から実施されており、環境・3R分野の表彰としては、我が国でも有数の規模を誇る制度として広く定着してきている。

昨年10月に、平成20年度（第17回）の受賞者が決定し、以下の酒類業者が受賞した。

- 内閣総理大臣賞：サントリー株式会社 京都ビール工場
（受賞テーマ：「エコ・ブルワリー」の実現に向けた環境保全活動）
- 財務大臣賞：キリンビール株式会社 神戸工場
（受賞テーマ：副産物・廃棄物の再資源化100%、省エネ活動の実践と積極的な広報活動）
- 財務大臣賞：新日本流通株式会社
（受賞テーマ：1.8リットルびん（一升びん）のリユース・リサイクルを担うプラスチック製コンテナのレンタル事業）

主催：リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

行政・消費者・産業界等が連携してリサイクルを推進することを目的に、平成3年9月「リサイクル推進協議会」として設立。平成14年6月に、これからの資源・廃棄物問題に対処するにはリサイクルのみならず3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）を通じた循環型社会の構築が必要であることを踏まえ、「リデュース・リユース・リサイクル推進協議会」と改称し、3R推進のための啓発・普及活動を実施している。

後援：内閣府、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

2 エコプロダクツ大賞

エコプロダクツ大賞推進協議会では、すぐれたエコプロダクツを表彰することを通じて、エコプロダクツの供給者である企業等の取り組みを支援し、わが国におけるエコプロダクツの開発・普及の促進を図るとともに、エコプロダクツに関する正確な情報を需要者サイド（事業者、消費者等）に広く伝えることを目的に「エコプロダクツ大賞」を実施している。

本表彰は平成16年から実施されている。

昨年12月に、平成20年度（第5回）の受賞者が決定し、以下の酒類業者が受賞した。

- エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（エコプロダクツ部門）：サントリー株式会社
（名称：環境に配慮したパッケージを採用した国産ワイン）

主催：エコプロダクツ大賞推進協議会

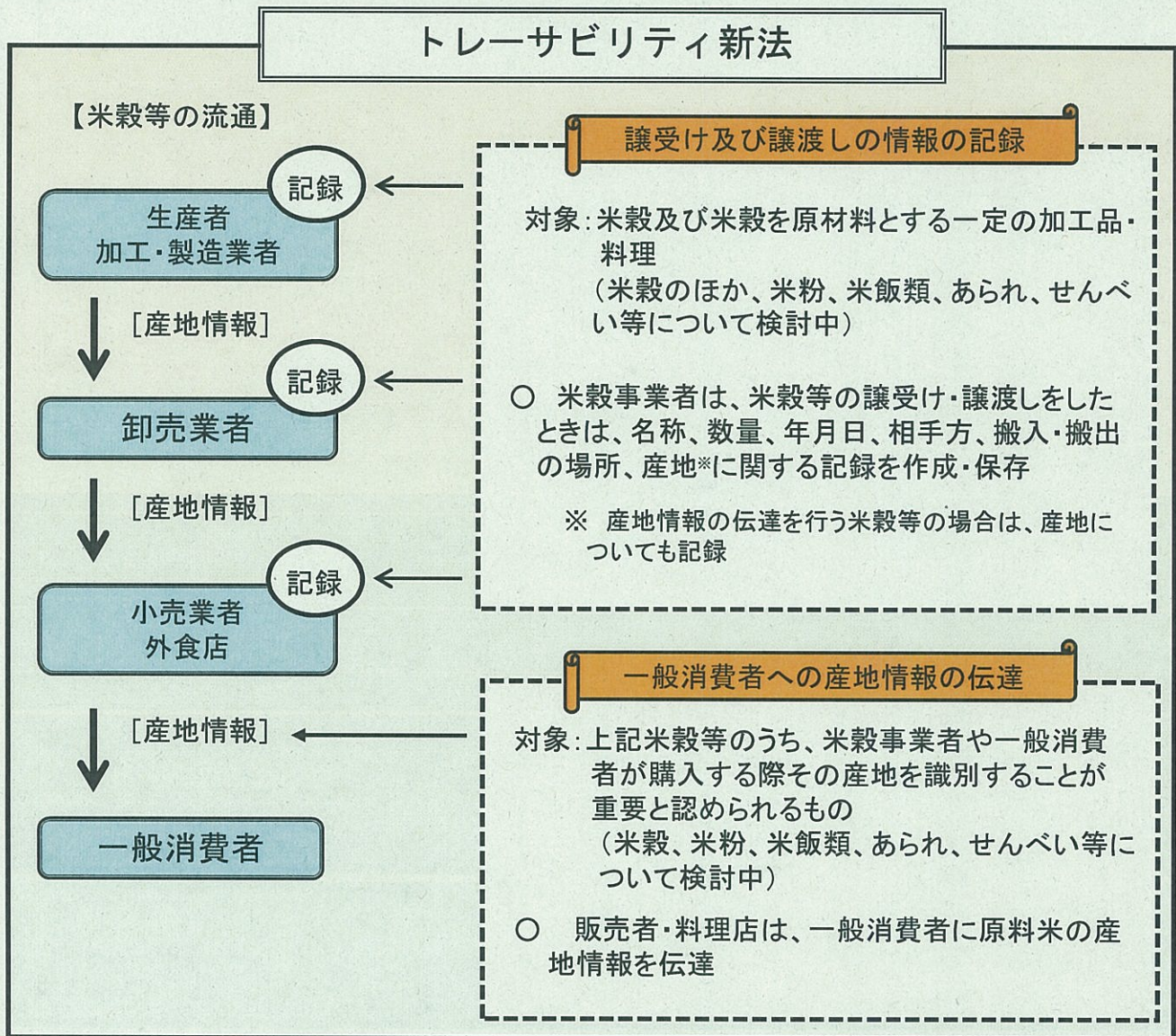
環境負荷の低減に配慮した製品・サービス（エコプロダクツ）をさらにわが国に普及させるため、具体的にすぐれた環境配慮が組み込まれるとともに、独創性にあふれ、しかも社会的にも評価の高いエコプロダクツを表彰する「エコプロダクツ大賞」の実施などを通じて、わが国におけるエコプロダクツの振興・発展を図っている。

後援：財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律案の概要

【法律の趣旨】

- 食品事故への対応、表示の適正化、適正かつ円滑な流通の確保等に資するため、トレーサビリティを導入し、米穀等の流通の透明性を高める。
- トレーサビリティを基礎として、米穀等の産地情報を一般消費者にまで伝達。



期待される効果

- 問題製品の迅速な回収
- 流通ルート of 早期特定
- 食品事故の原因究明や産地等の偽装表示の解明の促進
- 米穀の産地情報を一般消費者が入手